

サロンコンサート“亀さんのおくりもの”シリーズNo.13

亀さんの

メリークリスマス!

～歌でつづる1986年カレンダー～

★1986年12月21日(日) PM 6:30開演
(PM 6:00開場)

荻窪ユアビル I (6F) マジスティールーム
(国電荻窪駅西口下車北側へ徒歩1分)

料金・1,500円

お問い合わせ 亀さんのおくりものコンサート係
☎(03)395-8802まで

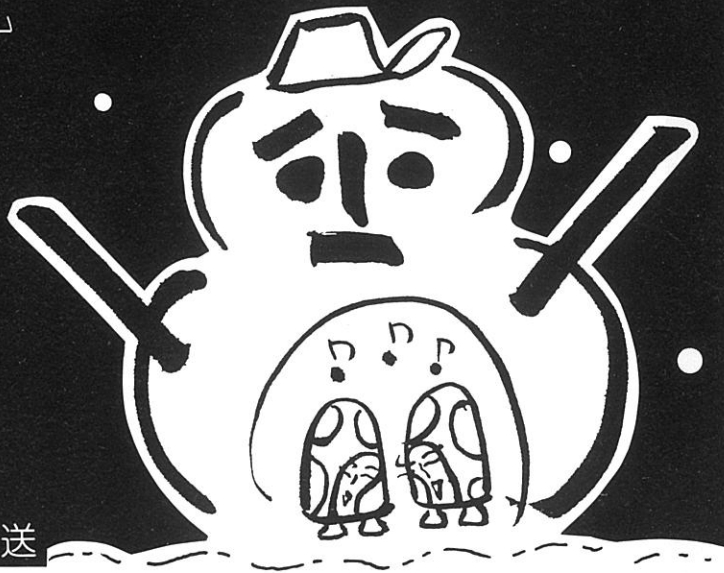
★1986年12月23日(火) PM 6:30開演
(PM 6:00開場)

長野国際会館「平安の間」

料金・1,500円

お問い合わせ 亀さんのおくりものコンサート係
☎(03)395-8802
☎(0262)32-1703まで

後援 / 信濃毎日新聞社・信越放送



ソプラノ亀山勝子 満州生まれ。熊本市出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学声楽専攻科及びオペラ研究室修了。第37回読売新聞新人演奏会出演。1975年ウィーンに留学、アレキサンダー・コロエ氏に師事。この間オペラでは「魔笛」「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「海の子守歌」「検察官」「ロパンとマリオン」などの舞台を踏み、一方、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「Odur ミサ」「莊嚴ミサ」第九、ブラームス「ドイツレクイエム」、フォーレ「レクイエム」等のソリストとして、また二期会「新春オペラコンサート」「NHK夕べのレサイタル」等数多くの演奏会に出演。近年では79年小林道夫ピアノ伴奏による「レサイタル」、83年小松一彦指揮オーケストラによる「レサイタル」に続き、日本歌曲連続演奏会をもち、また、日本オラトリオ連盟主催の合唱曲ソリストも務め、オペラでは「婚約手形」「往きと戻り」「ボツカチオ」「白雪姫」に出演、82年イスラエルフェスティバルには日本代表として参加、エルサレム、テルアビブ両歌劇場にて好評を得る。現在もオペラ、宗教曲、日本歌曲、ポピュラー曲まで幅広く活躍中。特に子どものうたの歌唱力、表現力には定評があり、夫君法男氏との音楽教室、親と子の音楽会では客席と一体となったすばらしいステージが展開され、新しい輪が広がっている。二期会会員。東京室内歌劇場会員。国立音楽大学講師。畑中良輔、更子、伊藤京子氏に師事。

作曲・ピアノ亀山法男

長野市出身。国立音楽大学教育音楽学科第1類卒業。故岡本敬明教授、小山章三教授に学ぶ。子どもの詩にとり組んで、歌曲、合唱曲など多くの作品を書き続け、東京にて79年10月、80年7月、81年2月、11月、82年4月と次々に新作を発表。同年12月より愛妻勝子氏とのコンビで始めたサロンコンサート“亀さんのおくりもの”では、企画・制作・作詞・作曲・編曲・伴奏・歌・司会・演出とすべてを担当、独特なプログラム、多彩なゲストを交え、すでに13回目を数え注目を浴びている。また、合唱指導、スクールコンサートにも意欲的な活動をしている。出版作品、レコード多数。代表作には、子どもの詩による歌曲集「ねこ」「色をついた雨」「おかあさんへ」、歌曲集「てがみ」、童謡曲集「ほおずき色の重ね箱」、ピアノ曲集「さあ、おとぎの国へ!」「シヨンの想い出」、女声合唱「Ave Maria」「シーツの船で」、合唱組曲「風のかたみ」「ドレミって不思議ですね!」、おとぎオペレッタ「白雪姫」「五匹の仔ねことサプとスリのお話」、人形ミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」、民話オペラ「犬石物語」、教育芸術社教科書小学五年生用合唱曲「ほくらのクラス」などがある。日本童謡協会会員。東京室内歌劇場会員。

